

(様式3)

自己評価結果票 (Bユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として個別ケア、ターミナルケアまで受け入れ安心できる生活を継続させる。	地域住民、自治会活動等の交流をより深め施設のサービス内容を知ってもらう
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者が会議等で職員に説明し全職員も理念を理解している。状態の変化や毎月のケアカンファレンスを行っている。	ターミナルケアを行い、職員もターミナルケアを意識している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には入居時にホームの理念を説明し理解を得られるように努めている。	
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時に近隣の人に挨拶、言葉を交わす	音楽療法に参加を呼びかける。保育所や老人会等の行事などに参加できるように働きかけ交流を持つ
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、子供会などの地域活動に参加する。	子供会の子供たちを施設に招き入居者と楽しむ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の会合などに参加し認知症について話し合い理解していただく。又施設職員で役立つことがあれば協力させていただく		近所のゴミ拾い、掃除
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果を会議で説明し職員全体で検討改善すべき点を話し合い実行可能なところから取り組んでいる。		自己評価に取り組むことで自己を見直すきっかけになる。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設内での出来事や対応に苦慮している事柄などを報告し意見やアドバイスを頂いている。		自治会の回覧板をとおして、家庭で眠っている不要の食器やタオル、バスタオル、着物、帯など様々な品を地域の方々から頂戴し活用している。 (自治会長さんの協力)
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の福祉課で散歩介助や催事のボランティアの依頼をしている。		朗読。区の福祉課に電話相談。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人制度について会議の場で内容説明を受け学ぶ。		入居者のひとりが成年後見人制度を利用されている。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議で良く話し合い周知している。職員サイドの介護にならないように心がけている。		マニュアル本を作成、各フロアーに配布している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>施設見学時に案内説明をする。ご家族の知りたい点や疑問にも応じ不安の解消を図る。契約時には特に内容の説明、理解を得るようにしている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者からの苦情、要望はお互いにその都度話し合い反映させている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会時に日ごろの生活について職員が説明している。金銭管理は事務の方から面会時に帳簿確認とサインを貰っている。</p>	<p>敬老会やクリスマス会等、ご家族が多数参加された時に説明している。必要に応じ封書で送付している。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見、不満は直に相談に乗っている。外部への連絡は重要事項説明書に連絡先を記載している。</p>	<p>アンケートや投書箱を設けいつでも外来者や家族の声を聞けるようにする。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やリーダー会議で意見や要望は常に聞き解決できるようにしている。</p>	<p>フロアー会議を行い話し合いの場を設けている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状況の変化によって時間延長や出勤日の変更は各リーダーから早いタイミングでその都度調整している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は利用者の状態を考慮しながら行っている。離職は利用者や職員間の関わりを優先しながら行っている。		離職者は発生する。働きやすい環境作りと改善策を考える。
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症に関する研修の参加、他施設の見学。研修、見学後の社内会議での報告		研修で学んだことを施設内で実施（ロールプレイ）等 近隣の事業体と合同の勉強会の共催
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設見学や交流会での意見交換等に参加、良い面を取り入れ質の向上を図る。		同業者との交流を図る。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の悩みや相談は、その時々聞くように努めている。親睦会などで解消している。		各リーダーは職員からの相談や悩みを良く聞いている。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会や講習会の受講を推進。職員個々の要望に応えられるように相談に乗っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>環境の変化と不安から、なかなか本当の自分を出すことがないので、声かけと関わりを多くするよう心がけ不安を取り除くようにしている。</p>	<p>趣味や得意とすることを話題に疎通を図り馴染みやすい環境と安心感を与える。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初期の段階は家族にこちらから聞くことが多くよく話し合っている。家族の心配事や不安がないか聞くようにしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の状態を把握しながら家族の要望、要求の支援がどこまで可能か考慮しながら対応している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>環境に慣れるまで無理をさせない、本人の出来ること、できないことを見極めながら他の利用者にも馴染んでもらう。</p>	<p>会話や散歩レクリエーションなどに参加しながら少しずつ慣れてもらう。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として豊富な経験や知恵を直に教わりながらお互いを尊重し合い良い関係を築いている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	利用者の現状を家族に説明し介護や方針、対応策などを家族と話し合い、情報を共有して共に支えている。		
29	利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	敬老会やクリスマス会に参加して頂き一緒にお食事ををし、後はお楽しみ会でボランティアによる演芸や職員と利用者の歌と踊りで楽しいひとときを過ごすのが恒例になっております。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人、知人の訪問や電話連絡は常に支援している。住み慣れた自宅、友人宅への訪問は家族の協力を得ている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎朝のラジオ体操、週一回の音楽療法時は利用者全員が集合して行うため一階～三階までの全員が顔なじみである。		施設内では、利用者が他の階に行くことは自由にしている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	来訪はいつでも歓迎している。		家族が営んでいたクリーニング店とは、契約終了後も利用を継続している。その他の家族においては 電話での安否確認を行っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の意志を尊重している。 利用者によく話をしてその中から希望や要望を読み取り、それぞれに対応している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族や利用者、利用者情報を元に把握している。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活記録、申し送り、日誌 ナースによる身体チェックなどで把握している。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメント、日々の生活記録、介護職、看護職等の意見を踏まえ、利用者やご家族、担当者と相談して作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直し、フロアー会議等の話し合いや状態の変化に応じてその都度作成している。</p>	<p>状態の変化に応じてご家族とも相談し協力を得る。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルを作成し生活記録、支援経過の記録をし、アセスメント等で情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療面や介護用品の購入支援 介護タクシーの手配をしている。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる散歩、朗読や避難訓練、自治会の花祭りの参加等。		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	身体状況の変化のある度に協議をし必要な時期に特養や、老健への申込を併用している。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での参加で、情報を提供してもらっている。		今後必要に応じて協力し合うように願います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前の主治医に受診を希望されている家族は、継続し情報提供をしてもらい、身体状況の変化に応じてご家族と相談の上でホームの提携医に変更してもらっている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて家族と看護師が相談し専門医に受診できるように支援している。		職員が利用者をよく観察し状態変化を早期に見つけ出し看護師に報告する。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	往診医と看護師そしてご家族それぞれが常に同じ情報を共有し医療面を支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院側と常に連絡を取り、以前の生活情報を知らせ入院生活がスムーズに過ごせるようにしている。見舞の時などに経過をお聞きする。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員は常に念頭においている。家族、主治医、利用者全ての条件が整った時ターミナルケアを行っている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	実践している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	ご家族様と利用者から生活情報を活用し馴染みの物を出来るだけ持ち込むようにし安心できる環境を整えるようにしている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりの人権を考え常に思いやりのある声かけをし、個人のプライバシーを厳守している。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	日常の動作でも意志を尊重している。衣類の洗濯も利用者が好きなものを選び着替えを援助している。		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	トイレ誘導や入浴を嫌がる利用者には時間をかけ、納得するまで待つ。食事のペースも個々に違うため、じっくり時間をかけ終わるまで付いている。		ご本人の意志やペースに合わせた声かけ、対応。
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	整容の際は、鏡の前で行い、散髪はご本人の意思を尊重。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備、片付け、ランチョンマットを敷いたり、盛り付けを楽しんだり、職員と共に行っている。</p>	<p>日曜日には、ホットケーキ、たこ焼きなど利用者と一緒に作っている。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>利用者が望む飲食物は購入したりご家族様が持ち込んだりしている。</p>	<p>タバコは館内禁煙、家族の持ち込みの飲食物はお帰り時に残りを預かり、利用者に分けて出している。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>利用者のそれぞれのパターンに合わせておむつの使用方法を考え、トイレ誘導や声かけを時間決めて行っている。</p>	<p>便器でうまく出来ない利用者に対して常に声かけをし、気持ちよく便器で出来るように持っていくたい。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴を嫌がる利用者に対して本人が入りたいときに合わせて入浴してもらう。</p>	<p>常に声かけが必要で入浴が気持ちいいことや楽しいことに気づいてもらうようにしている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>布団干しやシーツ交換、就寝時間を知らせるようにしているが基本的には利用者が寝る時間を決めている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>音楽療法や健康体操、スポーツ好きの人や踊り好きの人、それぞれに合わせたレクリエーションを行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している			品物を選ぶことやお金を支払うことにためらいや、もったいない気持ちがあり、なかなか決められないでいる。不安を取り除いたり、買い物が楽しみになるよう支援したい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族の協力で外食、外出、外泊 職員と一緒に買い物		外食等を増やしたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自分で電話が出来る人は事務所でかけてもらっている。毎月の一口メモに利用者にも書いてもらっている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人、知人など、それぞれ来客がある時には職員も一緒に話し込むこともある。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない事を前提に職員は身体的に低下した利用者、精神的に不安定な利用者の要望をできるだけかなえてあげることや転倒防止のため生活環境をその人に合わせ変更している。		利用者の身体状況や精神状況を常に観察し早い時期に対応が出来るようにしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベータは自由に乗り降りでき各フロアへ行き来できる。 居室や玄関は鍵をかけていない。		別フロアへの移動者の連絡を職員同士が密に取り合っている。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室に入る時、ノックをして入るようにしている。職員同士、各フロア間で利用者の居場所を確認のため連絡を取り合っている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室の掃除の時などにさりげなく危険物がないかチェックし発見すれば家族の同意の上で回収している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	見守りや歩行器、手押し車の補助具の使用、嚔下困難な人に対して食事介助に利用者一人付いて行う、家族持ち込みの飲食物のチェック。		実際の場面になると手順どおりになかなかできない時もあるので、勉強会を継続する。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当てや初期対応の訓練を定期的に行っている	初期対応は各フロアに掲示している。 応急処置は看護師の指示で行っている。		夜間は日中から要注意の利用者に対する急変時の対応を看護師より申し送りしている。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年2回の実施、消防署に来てもらい消火器の使用方の講習 会議でも話し合い、練習、講習		運営推進会議で災害時の協力を依頼する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>状態の変化に応じて、その都度ご家族と話し合い危険な要因を排除するようにしている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日定期的なバイタルチェックを行っている。入浴時の身体チェック日常生活の動作の変化があるかチェックする等で早い対応をする。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>看護師が職員に薬の説明をその都度行っている。症状に変化があれば看護師に報告する。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分量と食事量の記録をとり、便秘の予防、排泄物のチェック、マッサージ、運動量の調整で排泄を促す。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の口腔ケア、夜間義歯の熱湯消毒、舌の清掃やうがい 自歯の確認</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の食事摂取量、水分量がわかるように記録されている。補助器具の使用、ミキサー食、栄養補助食品ラコール、エンシュアを使用。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを設置、それにそって実行している。		訪問者は手洗い、うがい実行
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理はチェック表で特に温度管理に注意をしている。台所用品の使用後除菌・漂白を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りは季節の花やディスプレイを置いている。庭には畑や花壇		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビング、大きな窓、畳コーナーやダイニングテーブルを囲んでお茶を飲んだり会話を楽しんだりしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやつい立を置き簡易的な目隠しになるようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、家族との写真を持ち込み安心して過ごせるようにしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングや居室は毎日換気をしている。エアコンの温度管理は職員が気温に合わせて行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床面はフルフラットで車いすがどこでも移動できるようになっている。手すりは要所に設置している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日々の中で利用者が出来ること、出来ないことを見極め、さりげなく支援し、できたことは一緒に喜び合うようにしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花壇や日向ぼっこを楽しむために椅子やパラソルを置いている。 畑で野菜を植えて収穫を楽しむ。		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目 (Bユニット)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)